



しずくいしちょうしゃかいふくしきょうぎかい
雫石町社会福祉協議会

編集と発行／雫石町千刈田 82-2 雫石町総合福祉センター内
TEL：692-2230 FAX：691-1140
e-mail：shizuku-shakyo@shisha.or.jp
http://www.shisha.or.jp
ホームページからもお覧になれます。

社協だより

2013
DEC
72号

基本目標：

「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」



皆さんからのご支援に感謝！！

もくじ

- ◆雫石町災害ボランティアセンター設置…… 2～3P
- ◆平成25年度雫石町地域福祉懇談会 …… 4～5P
- ◆平成25年度合同金婚式 …… 6～7P
- ◆第66回岩手県社会福祉大会 …… 8P
- ◆平成25年度赤い羽根共同募金運動報告 …… 9P
- ◆社協トピックス…… 10P
- ◆西山保育園だよりVol.10 …… 11P
- ◆お知らせ…… 12P

表紙写真：8月9日に発生しました豪雨災害に対して災害ボランティアセンターを立ち上げ、県内外から多くのボランティアによるご支援をいただきました。詳しくは、2Pをご覧ください。

この社協だよりは、皆様から寄せられた社協会費の一部をあて発行しています。

ボランティア活動一日の流れ

ボランティア受付

グループづくり・マッチング

オリエンテーション

資材確認・移動

現場活動

活動報告・終了

への炊き出しを行い、災害時でもできる活動を見出したようです。

今回の豪雨災害では、延べ1,948名の方が全国各地から集結し、災害救援ボランティアによる支援活動がまさに大きな力を発揮し、この町の復旧の足がかりとなりました。

今、全国各地で頻りに災害が起きています。災害VCは閉鎖しましたが、今回の災害を機に、防災への備え、地域コミュニティを再度見つめ直し、災害に強い町づくりを皆さんと共に築き上げていきたいと思っています。

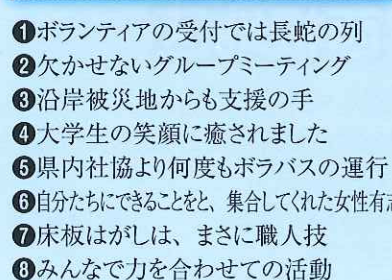
最後に、被災された皆さま方に



床下の泥出しをするボランティア

お見舞い申し上げますと共に、今回雫石町のためにご尽力いただいたボランティアをはじめ各関係団体・機関の皆さま方に心より感謝申し上げます。

災害ボランティアワラフイティ



- ① ボランティアの受付では長蛇の列
- ② 欠かせないグループミーティング
- ③ 沿岸被災地からも支援の手
- ④ 大学生の笑顔に癒されました
- ⑤ 県内社協より何度もボラバスの運行
- ⑥ 自分たちができることを、集合してくれた女性有志
- ⑦ 床板はがしは、まさに職人技
- ⑧ みんなで力を合わせての活動



つながる・広がる人のちから

8・9豪雨災害

雫石町災害ボランティアセンター設置

雫石町社会福祉協議会では、豪雨災害に伴い、8月9日から9月1日までの期間「雫石町災害ボランティアセンター」（以下、災害VC）を設置しました。

災害ボランティアセンターとは、ボランティアの力と地域住民の支援ニーズをコーディネートすることで、地域住民の力や行政だけでは取り組むことのできない部分の復旧復興支援を行います。

災害VCでは、発災当夜、ホームページで災害救援ボランティアの募集を行い、翌日から県外からもボランティアが駆けつけ、家屋や側溝、小屋等の泥だし作業や家財撤去作業等の活動が行われました。

被災された方からは、「自分たちだけでは片付けられなくて途方に暮れていた。自分の町（家）の



総合福祉センターに設置された「災害ボランティアセンター」

ために、こんなに全国各地からボランティアが来るなんて想像もしなかった。本当にありがたい。」と、復旧への後押しとなったと言います。

また、「災害ボランティア＝重労働」という印象を持たれていた町内の高齢の方や女性の方々も、現場から帰ってきたボランティア

地域の皆さんの声

平成25年度雫石町

雫石地区

- ★8.9の災害で被害のあった住宅の修繕も大事なことで、被災者の心のケアについても、取り組みが必要だと思う。
- ★地区公民館の収容人数について教えてほしい。
- ★歳末の助け合い封筒について、封をしないで班長に渡す方が多いので、のり付け封筒にできないのか。

橋場地区

- ★傾聴ボランティア活動を行っている団体の会員の方々は、研修を受けて活動しているのか。
- ★サロンや老人クラブ等の活動を行いたい、代表者に負担をかける事が多いため、設立は難しい。
- ★避難場所に、物資の備蓄が行われていたのか。
- ★地域の避難場所がどこなのか、もう一度再確認する必要があると思う。
- ★災害が発生した際に、道路の封鎖を早急に行なって欲しい。避難の際に、危険性が増して怖かった。

セツ森地区

- ★8.9の際、各地区の公民館が避難所になったが、最大で何人が避難所にきたのか。
- ★ボランティア活動について、瓦礫処理や泥出し等の他にも、炊き出し等の活動があると聞いたが、どのような活動があったのか。
- ★サロンについて、集まる際の会費は、どのようにしているのか。
- ★お買い物サービスというものがあると聞いたが、対象となるのは高齢者だけなのか。
- ★各地区に、移動販売車等が来てもらえると、買い物に車でいけない人の支援になると思う。
- ★一人暮らし老人昼食会について、締切人数が35名の理由は何か。
- ★町全体として、年々どのくらいのスピードで、高齢化が進んでいるのか。

大村地区

- ★各地域の危険区域について、行政では把握できているのか。
- ★大村地区は山に囲まれた場所にあるため、今回のような水害に対応するため、砂防ダム等の建設を検討していただきたい。
- ★めぐりあい事業に、参加者はどのような方が多いのか。

上長山地区

- ★町内で自分たちで介護予防を行っているグループがあるが、今活動している団体を統一して活動をしてみてはどうか。
- ★独居老人等が多く、交流会等、集まって活動するのが難しい。他の地域ではどのように活動を行っているのか。
- ★ふれあいサロンとはどのような活動を行っているのか。
- ★老人クラブとサロンの違いは何なのか。
- ★役場のバスは、いつでも、どの団体でも使うことができるのか。
- ★老人クラブという名称にマイナスイメージを感じるが、名称の変更はできないのか。
- ★今回の災害で、各地域のコミュニティは機能していたのか。

安庭地区

- ★多くの方々にボランティアに来ていただいたようだが、各都道府県にボランティアの組織があるのか。
- ★水害の種類によって、避難場所を変更することも、検討する必要があるのではないか。
- ★小学校が避難所に決められているが、停電になると避難所としての機能が果たせなくなるので、発電機の設置等の対応を検討して欲しい。

をお伺いしました

地域福祉懇談会開催

町社会福祉協議会は、10月21日から25日の5日間、町内10会場で平成25年度雫石町地域福祉懇談会を開催しました。228名の方々に出席いただき、参加者の皆様が抱えている地域の課題について、貴重な意見・質問をいただきました。

今回の懇談会のテーマは、「今地域で課題となっていること」及び「8.9豪雨災害」であり、主に8月9日の被害状況や支援対応、コミュニティでの活動、高齢者の生きがいづくり等、多様な意見・ご質問がありました。

懇談会で頂戴いたしました、意見・質問の中から抜粋し、紹介させていただきます。



南畑地区

- ★南畑小学校前の道路等の、陥没している箇所の復旧工事の計画は進んでいるのか。
- ★町外から多くのボランティアの方々が来てくれて、頼もしく感じたが町内の関心が低いのも同時に感じた。
- ★保育所の運営について、町全体で子どもの数が減少しているが、今後町ではどのように対策を考えているのか。
- ★ふれあいサロンが未設置の地区からは、設置の要請はでているのか。
- ★どの地区でも、後継者が町外に出てしまっている。

御明神地区

- ★各行政区に備え付けてある広報無線が聞き取りにくいので、各家庭にラジオ型の物を置くことはできないのか。
- ★瓦礫等の仮置き場を設置していただいたのは良かったが、破損している道路が多かったため、道路状況などを考慮して設置して欲しい。
- ★災害の際、道路の状況等、詳しい情報を教えてほしい。また、テレビ等で被害の状況について、全体に情報を発信して欲しい。
- ★ハザードマップについて、改めて検討する必要がある。
- ★スノーバスターズの利用料金はいくらか。

下長山地区

- ★今回の災害のことを風化させないように、教訓として記録しておくことが必要だと思う。
- ★町の防災訓練について、他の地区での参加率はどうになっているのか。
- ★役場に対して、老人クラブの年間収支報告を提出するのが大変なので、簡略化できないのか。

西根地区

- ★敬老会等の行事を開催している際に、災害が発生した場合、担当職員が現場にて確認し、状況を判断しなくてはならないと思う。
- ★小学校の統合により、地域ごとの伝統が失われてしまうのではないのか。

平成二十五年 度

雫石町合同金婚式開催

十一月二十二日（金）に雫石町で初めての開催となる、合同金婚式を開催いたしました。

結婚五十年以上となる二十八組のご夫婦が参加されました。



「開会前で、少し緊張気味の様子」

アトラクションでは、昔を思い出していただくように、上長山無形文化財振興会の皆様による『花嫁道中』を行い、長持ち（タンス）の後に花嫁が手を引かれ入場し、嫁方のタンスを渡す唄、それを受け取る唄、道中唄、婿方に到着を告げる唄が披露されました。唄の内容も鶴で渡せば、亀で受け取るなど、その場で機転を利かせて受ける唄を考えて唄っております。参加者の中には、この花嫁道中を見ながら、自分の嫁入りの時を思い出し、「そういえば母親が泣いていたのを思い出した。」「嫁ぐのに不安があったけれど、あれから五十年以上も経ったんだね」と言う声が聴かれました。



「当時の花嫁道中を再現。思わず涙がポロリ」

西山保育園児からは、元気の良いソーラン節と手作



「かわいい園児の発表」

りのメダルが、参加された皆さん一人一人にプレゼントされました。

参加者の方は、「踊り上手だったよ。私にもこのメダルくれるの？ありがとうございます。風邪ひかないんだよ。」

と保育園児に声をかけていました。



「なごやかな雰囲気であいさつを交わす園児と参加者」

の結婚生活の重みを感じられるメッセージが次々と披露されました。



「当時の写真に、会場から歓声があがります」



参加された方からは「余裕のある座席や時間等、細やかな配慮があり、とても和やかな気分で楽しく過ごせました。」といった声が寄せられました。

来年も開催いたしますので、昭和三十九年以前にご結婚された皆様、ぜひ来年ご参加ください。



「金婚式に参加された皆様」



平成25年度赤い羽根共同募金運動 報告

～自分の町を良くするしくみ～

平成 25 年 11 月 1 日現在

総額 2,437,687円

平成 25 年度赤い羽根共同募金 法人等募金実績

法人名	金額
雲石町役場職員一同 様	43,013円
岩井建設(株) 様	10,000円
岩手大崎電気(株) 様	10,000円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000円
(株)しずくいし 様	5,000円
雲石プリンスホテル 様	5,000円
新岩手農業協同組合雲石中央支所 様	5,000円
仙建工業(株) 様	5,000円
(株)中村建設 様	5,000円
松ぼっくり 様	5,000円
ホテル加賀助 様	5,000円
銀河交通(株) 様	3,434円
長栄館 様	3,000円
雲石タクシー(有) 様	2,000円
合 計	126,447円

平成25年度 赤い羽根行政区募金実績表

(単位：円)

雲石地区		御所地区		西山地区		御明神地区	
行政区名	金額	行政区名	金額	行政区名	金額	行政区名	金額
高前田一区	30,000	鶯 宿	45,500	網 張	10,500	橋 場	12,000
高前田二区	40,500	馬場・大村・男助	46,000	盆 花	5,000	安 栖	14,000
林	101,000	赤 滝	26,500	極楽野	30,000	小赤沢	7,500
上町一・二	90,000	外掛沢	10,500	五 区	36,500	山津田	16,500
上町三	64,500	榊 沢	40,000	六 区	16,000	滝 沢	14,000
中町一	50,000	矢 用	19,500	七 区	21,500	南	16,500
中町二・三	25,000	片子沢	47,500	八 区	36,500	天 瀬	18,500
下町一・二	26,000	天 戸	47,000	野 中	33,500	天 川	15,000
下町三	35,000	安 庭	46,000	小 松	41,800	中 南	16,500
下町四	35,000	籬 野	26,500	林 崎	78,000	中 島	28,000
駅 前	50,000	町 場	10,000	篠 崎	26,000	黒 沢	16,000
長 根	25,000	九十九沢	9,000	上西根	20,500	まがき	17,500
谷 地	36,000	矢 櫃	10,500	八丁野	24,000	下春木場	17,000
晴 山	119,000	元御所	20,000	西根谷地	14,500	上春木場	28,000
中 沼	32,000			上駒木野	12,000	和 野	23,500
陽和郷	9,500			駒木野	30,500	横 欠	20,000
板 橋	37,000			葛根田	20,500	土 橋	12,000
七ツ森・丸谷地	114,740					上和野	14,000
小岩井	10,000					上野沢	11,000
東 町	100,700					岩 持	9,000
黒沢川	67,500					谷 地	12,000
						下川原	12,500
計	1,098,440	計	404,500	計	457,300	計	351,000

行政区募金額 2,311,240円

平成二十五年十一月六日
(水) 第六十六回岩手県社会福祉大会が岩手県民会館で開催されました。
当町からは、「岩手県社会福祉大会長表彰」三名、「岩手県社会福祉大会長褒賞」一名の方々が受賞されました。
式典後、上甲 晃氏より「命の時代」の主旨と題して、記念講演が行われました。上甲氏は、「志の高い日本」は「志高い日本人」によってこそ実現すると提唱し、志ネットワーク活動を展開。また、活動の一環として、全国に「青年塾」を創設し、多くの塾生が受講しているとのことでした。
講演後、受賞者ならびに社会福祉関係者が、誰もが安心して暮らすことができる福祉社会の実現に向けて、関係者が心を一つにして、更なる研鑽を積むことを誓い合い閉会しました。

～受賞おめでとうございます～



坂下 悦雄 氏(野中)

坂下氏は町内に福祉作業所の必要性をうったえ、知的障害者の親を動かし、福祉作業所を開所。平成九年から福祉作業所の事務局長として、通所生の指導、作業所の運営に尽力された。平成十六年から現在に至るまで、社会福祉協議会の理事に就任し、現在は、副会長として活躍され、町の福祉の増進に貢献している。その功績により、岩手県社会福祉大会から表彰を受賞しました。



前田 豊一 氏(篠崎)

前田氏は平成十四年から現在に至るまで、雲石町身体障害者福祉協会の会長として、また社会福祉協議会の理事として、地域福祉の増進に努めております。さらに、岩手県身体障害者福祉協会評議員として、県内でも活躍されている功績により、岩手県社会福祉大会から表彰を受賞しました。



杉下 弘喜 氏(八丁野)



中野 エサ 氏(岩持)

十年もの長い間、献身的に義母の介護を行ってきた功績により、褒章を受賞しました。

岩手県社会福祉大会長褒賞 (在宅介護者) 1名

杉下氏は、民生委員・児童委員として、二十年以上の長きにわたり地域の福祉向上に尽力してきた功績に対し、岩手県社会福祉大会長から表彰を受賞しました。

第66回岩手県社会福祉大会

共に生き、共に支える福祉社会の実現を目指して

笑顔いっぱい 元気いっぱい 西山っ子

西山保育園だより vol. 10



西山保育園周辺に広がる四季折々の自然、岩手山は雪で真っ白になり、冬の訪れを知らせてくれました。雪降る様子を窓越しに見る子どもたちは雪遊びを楽しみにしています。

人が成長・発達していくうえで欠かせないのは「人との関わり」です。楽天ゴールデンイーグルスの活躍もあり、保育園では野球のブームが到来しました。缶蹴りも子どもたちの間で流行し、木枯らしのなか夢中になって遊んでいます。日々経験を積み重ね、いろいろなことを体感し、順調にのびのびと成長しています。これから子ども同士の間を大切にしながら、成長を温かく見守っていきます。



うさぎぐみ きりんぐみ (0・1歳児)

「子どもは風の子、元気な子！」
～戸外遊び～

天気の良い日には、戸外に出て遊びます。憧れのぞうぐみさんの野球ごっこを真似して、ボールを追いかけています。

お散歩にも出発し、周辺の景色を見て指をさしたり、北風を感じながら元気に歩きました。

寒いなかでも笑顔を見せながら元気に遊ぶ姿にたくましさや成長を感じます。



ご飯できたよ～！



目指せ！銀次選手！



お散歩楽しいね♪

らいおんぐみ ぞうぐみ (3歳児) (4・5歳児)

「手作りいっぱい！」
～お店屋さんごっこ～

アイデアがいっぱいつまった手作りのお店屋さんが開店しました。

パフェ屋さん、おにぎり屋さん、ラーメン屋さん、金魚すくい屋さん、アクセサリー屋さんが並び、看板も全て子どもたちの手作りでです！

子どもたちが店員さんになりきり、「いらっしゃいませ～！」と声を張り上げて一生懸命に売り出したり、手作り硬貨を数えて売り上げチェックもしました。うさぎぐみ、きりんぐみ、職員がお客さんになり、楽しい時間となりました。



男のラーメン屋



はい、どうぞ！



いただきま～す！



おいしい♪

社協トピックス



皆さんに知ってほしい福祉のご意見・話題がありましたら下記までお寄せ下さい。
町社協事務局 (☎ 692-2230)

新生、男厨会！！

今年もあたたかい料理を届けます
～一人暮らし老人昼食会～

「みんなで協力すれば、朝飯前!!」



「本当に食べやすく、おいしいわ～」

年あがる料理の腕前に、「来年もまた食べた」と期待に胸をふくらませ、参加者一同楽しい会となりました。

十一月二十八日(木) 町内の七十五歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした昼食会「鶴の会」が「道の駅しずくいしあねつ」で開催されました。

今回は「男厨会」の方々が早朝から、あたたかい心のこもった手作り弁当を作り、参加者の皆さんに届けられました。「男厨会」とは、男子、厨房に入る会(の略称で、昨年度まで開催していた「男の料理教室」の生徒の皆さんが、今年から独立して、料理の腕を磨きながら、社会貢献を目的として活動を行っているボランティアグループです。

「男厨会」会長の大村さんは、「毎年この交流会を楽しみにして、日々料理の腕を磨いてきました。今日は、皆さんとお話しをしながら、一緒にお弁当を食べたいと思いますので、よろしく願います。」と挨拶・自己紹介をして、参加者の皆さんと、和気藹々とした楽しい会が始まりました。

参加者の中からは、「昔は、男子厨房に入らざるものっていったけど、皆さん本当に上手だね。」「毎年、心のこもったおいしいお弁当をありがとう。」「感謝の言葉が「男厨会」の皆さんに送られました。今後、「男厨会」の皆さんの活躍と毎年あがる料理の腕前に、「来年もまた食べた」と期待に胸をふくらませ、参加者一同楽しい会となりました。



「会場に笑顔と元気を♪」

みなさんに「元気と笑顔を」
～歳末助け合いチャリティーショー開催～

十二月一日(日) 栗石町中央公民館にて、「平成二十五年歳末栗石町歳末助け合いチャリティーショー」が開催されました。

当日は、栗石保育園や御所保育園のかわいい園児の皆さんによるお遊戯の発表や中川愛子社中の笑いのある歌謡ショーを始め、町内の団体の皆さんによる発表に会場は終始笑顔で満たされました。

また、恒例の会場募金では、中川愛子社中の協力を得て、子どもたちによる募金も行われ、昨年より多くの募金寄せられ、町共同募金委員会に、歳末の激励金として贈呈されました。

※募金の内容については、次回の歳末の実績報告に掲載いたします。

皆さまからのあたたかいご支援ありがとうございます

(平成25年7月以降受付分)

福祉車両の寄贈

● NPO法人しずくいし

代表 土橋 幸男 様

◆ ススキエブリイ 1台

(町の福祉活動車輦として)

● 岩手県生命保険協会

会長 榎原 英男 様

◆ 三菱eKワゴン 1台

(町の福祉活動車輦として)



「NPO 法人しずくいし代表の土橋幸男様より車輦の贈呈」



「岩手県生命保険協会様より車輦の贈呈」

福祉基金寄付金

● ㈱岩手互助センター

取引協力会 岩手アルファ会 様

100,000円

(福祉活動のために)

● 吉井 主税 様

50,000円

(福祉活動のために)

● よしやれの里

栗石G交流大会実行委員会 様

35,000円

(福祉活動のために)

● 第13回南部よしやれ全国大会

一般部の優勝 山上 衛 様

30,000円

(福祉活動のために)

● ㈱福祉サポート北東北

代表 海道 貢 様

10,000円

(福祉活動のために)



「岩手アルファ会様より寄付金の贈呈」

社協行事予定

12月

14日(土) 男の介護教室

16日(月) スノーバスターズ総会

18日(水) 社協理事会

20日(金) 福祉大会実行委員会

民生委員12月定例会

21日(土) 麵'sクラブ

25日(水) 障がい者相談所

1月

4日(土) スノーバスターズ出陣式

11日(土) 男の介護教室

スノーバスターズ巡回

訪問(18日(土)、25日(土))

も実施)

23日(木) 民生委員定例会

24日(金) 民生委員定例会

2月

1日(土) スノーバスターズ巡回

訪問(15日(土)、22日(土))

も実施)

8日(土) 第37回栗石町社会福祉

大会(予定)

21日(金) 介護者の集い

26日(水) 心配ごと特別相談所

27日(木) 一人暮らし老人昼食会

3月

5日(水) よろず相談所(御所)

12日(水) よろず相談所(西山)

19日(水) よろず相談所(御明神)

26日(水) よろず相談所(栗石)

※事情により変更になることもあります。予めご了承ください。



編集後記

だんだん
と、外の景
色が白くな
り、厳しい

寒さの到来を感じます。今年も、昨年同様大雪が降るのではないかと、心配になります。

福祉センターの車輦も、運転ボランティアの皆さんにタイヤ交換をしてもらい、冬対策が終わりました。

夏の大雨の影響は、当町に多くの被害を与え、住民の皆さんに心に多くの傷跡を残したと思います。住民の皆さんからの声にもありましたとおり、町内外から多くの方々が、復旧活動に駆けつけてくれ、ご支援いただいたことに心より、感謝いたします。

今年は、多くの皆さんに、支えられている事を感じた一年でした。皆さんからのご支援に応えられるよう、社協職員一同、心のこもった事業を行えるよう引き締めて参りたいとおもいます。(春)

